中学校名		指導者名	経験年数	e-mail
旭東	中学校	江 政宏	34 年	kashiko@ichi-ji.ed.jp

学年	学期	領域	時数		題材名・概要	評価	知識	技能	評価	思考・判断・表現(知識)	思考・判断・表現(技能)	評価	学びに向かう力(態度)	学びに向かう力(態度)	共通事項
2	前期	表現 デザイン 工芸 鑑賞	8	題材名	文字を使ったマークのデザインの魅力を感じ取って	A	①伝達のデザインにおける形などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多種な視点から理解していたり、幅広い視野に立って造形的な特徴などを基に、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などをより深く全体のイメージなどを捉えていること を理解している。	②表現の意図に応じて、形などが感情にもたらす効果を意識しながら試行錯誤を重ね、より洗練されたデザインになるように創意工夫をし、明確に完成までの見通しをもってよりよく創造的に表している。	A	①自分に関するイメージなどから主題を生み出し、主題をより深く表現するために、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多種な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っている。	①伝達のデザインの造形的な特徴などから伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて幅広く考え、生活の中のデザインの役割など、多様な視点に立って見方や感じ方を深めている。	A	①主体的に深く鑑賞の活動に取り組み、独創的な視点で伝達のデザインの効果と調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取ったり、知識を活用しようとし、自創的な工夫などを深めたりして表現方法の試行錯誤を重ねて創意工夫し、見通しをもちながら粘り強く表そうとしたりしている。	①主体的に深く鑑賞の活動に取り組み、独創的な視点で伝達のデザインの効果と調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取ったり、知識を活用しようとし、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしたりするなどして、見方や感じ方を深めようとしている。	7 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
				概要	題材の目標 作家などの鑑賞や文字を生かしたマーク制作を通して、日常にあふれるデザインの魅力や機能について理解を深め、自分の生活にそれらを活かすことの楽しさを味わう。 主な学習内容 ・身近なマークのデザインにみられる工夫やマークに求められる条件などについて理解する。 ・視認性やバランスなどを意識してマークのデザインをする。	B	■形などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多種な視点から理解していたり、幅広い視野に立って造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどを捉えていること を理解している。	表現の意図に応じて、表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもってよりよく創造的に表している。	B	文字の組み合わせの面白さからイメージを広げ基に、マークとしての機能を考え、表現する構想を練っている。	マークの込められたイメージと見やすさのバランスの取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	B	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく分かりやすく印象に残るマークをデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい内容と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1) 形や色彩などの組合せによる構成の美しさを捉える。
						C	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について深く考え直して、表現する構想を練っている。	■実際にものを作りながら、用具の特性や扱い方について実演を行いながら説明したり、主題を確認させて生徒自身の表したいことを整理させるなど制作の手順を繰り返し確認させたりしながら、見通しがもてるようにする。	C	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について深く考え直して、表現する構想を練っている。	■実際にものを作りながら、身近な生活の中で使われているものを用いて形などの効果について考えさせたり、組織の活動の振り返りをさせたりしながら新たな伝達のデザインの作品を見せるなどして表現の工夫などについての意味を深めるよう指導を行う。	C	■実際にものを作りながら、身近な生活の中で使われているものを用いて形などの効果について考えさせたり、組織の活動の振り返りをさせたりしながら新たな伝達のデザインの作品を見せるなどして表現の工夫などについての意味を深めるよう指導を行う。	■自他の作品の意図や創造的な工夫などから、伝達のデザインの効果と造形的な特徴との関係性などを多種な視点で考えさせるようにする。	
2	前期	鑑賞	4	題材名	「空間（遠近感や立体感）を表す造形的な視点を意識して」	A	①日本と西洋の美術作品の陰影や背景などの表現の特徴、それぞれの違いや余白や空間の効果などに着目してそれらの動きを捉えた り、日本と西洋の美術作品の表現の特徴や違いなどを全体に着目してイメージや作風を捉えている。		A		①余白や空間の効果などに着目してそれらの動きを捉えたり、全体に着目して作風の違いを捉えたりするなどの造形的な視点を働かせながら、鑑賞の活動を行う。 的な特徴などから全体のイメージや作風などで捉えることについて実感的に理解		A		①作品と主体的に関わり、「共通事項」の内容を理解しようとしたり、表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしたり「知識」を活用しながら、美術文化について考えようとし、見方や感じ方を深めようとしている。	7) 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉える。
				概要	題材の目標 構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げる。 主な学習内容 ○描かれている人や事物、構図や色使いから絵の中で どのような金話が交わされているかを考える。 ○作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。	B	余白や空間の効果、立体感や遠近感、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。		B		造形的よさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。		B		美術の創造活動の喜びを味わい主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	7) 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉える。
						C	■制作などの作業やそれらが感情にもたらす効果を より実感的に理解できるよう、類似作品や対照作品などと比較させて考えさせる。		C		■個々の生徒や学級全体に効果を することに重点を置き、構図や余白、色彩のイ メージや作風などに着目させるなどの指導を行う。		C		■いくつかの題材を設定して段階を追って見方や感じ方を深められるようにする		
2	後期	表現 絵や彫 刻 鑑賞	7	題材名	「不思議な空間」#1投影図法や等角投影図法を生かして	A	①構図や色彩が感情にもたらす効果を多種な視点から理解していたり、幅広い視野に立って造形的な特徴などを基に、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などをより深く全体のイメージなどで捉えていること を理解している。	②表現の意図に応じて、形などが感情にもたらす効果を意識しながら試行錯誤を重ね、より洗練された空間（立体感と奥行き）になるように創意工夫をし、明確に完成までの見通しをもってよりよく創造的に表している。	A	①より具体的に伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、主題をより表現するために、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多種な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っている。	①伝達のデザインの造形的な特徴などから伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて幅広く考え、生活の中のデザインの役割など、多様な視点に立って見方や感じ方を深めている。	A	①自ら進んで表現の活動に楽しく関わり、実によい表現を目指して、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えようとしたり、作品のよさや美しさなどを新しい視点を探しながら感じ取ろうとしたり、見方や感じ方を深めようとしている。	①自ら進んで楽しみながら、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えようとしたり、作品のよさや美しさなどを新しい視点を探しながら感じ取ろうとしたり、見方や感じ方を深めようとしている。	7 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
				概要	題材の目標 空間や夢（心の中の世界などから主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を選択して創造的に絵で表現する。 主な学習内容 ○夢、想像や感情などの空想やの心に広がる世界などを考えたり広げたりしながら主題を生み出す。 ○主題を基に新たなことを想像したり、さらに組み合わせたりしながら構想を練る。 ○絵の具などの特性を生かし、表現に応じて創意工夫して表す。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、根拠を明らかにして意見を述べたり比較したりする。	B	空間（立体感と奥行き）などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を選択して創造的に表している。	空間（立体感と奥行き）などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を選択して創造的に表している。	B	例 私たちの町を案内するために、伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、主題をより表現するために、形などが感情にもたちす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多種な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っている。	伝達のデザインの造形的な特徴などから伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて幅広く考え、生活の中のデザインの役割など、多様な視点に立って見方や感じ方を深めている。	B	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとするなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
						C	■制作などの作業やそれらが感情にもたらす効果をより実感的に理解できるよう、身近な体験などと関連付け考えさせる。	■空間（立体感と奥行き）などの効果を再度確認させることや、用具の特性や扱い方について実演を行いながら説明したり、主題を確認させて生徒自身の表したいことを整理させるなど制作の手順を繰り返し確認させたりしながら、見通しがもてるようにする。	C	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について深く考え直して、表現する構想を練っている。	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について振り返らせて、表現や工夫などと関連させながら見方や感じ方を深められるようにする。	C	他や色彩などが感情にもたらす効果などを実感的に理解できるよう、身近な体験などと関連付け考えさせる。	■自分の作品の意図と関連させ、他者の作品の特徴やイメージなどについて気付かせるようにする。	
2	2	表現デザイン工芸 鑑賞	8	題材名	「紙のよさや美しさを感じ取って	A	①伝達のデザインにおける形などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多種な視点から理解していたり、幅広い視野に立って造形的な特徴などを基に、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などをより深く全体のイメージなどで捉えていること を理解している。	②表現の意図に応じて、形などが感情にもたらす効果を意識しながら試行錯誤を重ね、より洗練されたデザインになるように創意工夫をし、明確に完成までの見通しをもってよりよく創造的に表している。	A	①より具体的に伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、主題をより表現するために、形などが感情にもたちす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多種な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っている。	①伝達のデザインの造形的な特徴などから伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて幅広く考え、生活の中のデザインの役割など、多様な視点に立って見方や感じ方を深めている。	A	①主体的に深く鑑賞の活動に取り組み、独創的な視点で伝達のデザインの効果と調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取ったり、知識を活用しようとし、自創的な工夫などを深めたりして表現方法の試行錯誤を重ねて創意工夫し、見通しをもちながら粘り強く表そうとしたりしている。	①主体的に深く鑑賞の活動に取り組み、分かりやすさと美しさとの全体のイメージなどを捉えて表現する意図を目指して知識を活用しようとし、独創的な視点から新たに表現方法の試行錯誤を重ねて創意工夫し、見通しをもちながら粘り強く表そうとしたりしている。	7 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
				概要	題材の目標 目的や条件を基に、紙の加工方法や美しい構成を考え、材料や用具などを工夫してデザインする。 主な学習内容 ○紙を折ったり、切ったり、巻いたりする活動から、美しい形を見いだす。 ○目的や条件を基に主題を決め出し、紙の特性を生かして制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	B	紙の特性、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。。	紙の加工方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	B	紙の特性やよさ、加工方法、飾る構図などから主題を生み出し、表的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。	紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	B	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく紙の特性やよさなどを生かして デザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(イ) 材料の性質や質感を捉える。
						C	■制作などの作業やそれらが感情にもたらす効果をより実感的に理解できるよう、身近な体験などと関連付け考えさせる。	■制作などの効果を再度確認させることや、用具の特性や扱い方について実演を行いながら説明したり、主題を確認させて生徒自身の表したいことを整理させるなど制作の手順を繰り返し確認させたりしながら、見通しがもてるようにする。	C	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について深く考え直して、表現する構想を練っている。	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について振り返らせて、表現や工夫などと関連させながら見方や感じ方を深められるようにする。	C	■実際にものを作りながら、身近な生活の中で使われている紙の効果について考えさせたり、鑑賞の活動の振り返りをさせたりしながら新たな伝達のデザインの作品を見せるなどして表現の工夫などについての意味を深めるよう指導を行う。	■自他の作品の意図や創造的な工夫などから、伝達のデザインの効果と造形的な特徴との関係性などを多種な視点で考えさせるようにする。	
2	3	表現 絵や彫 刻 鑑賞	8	題材名	「極想の空間」#2投影図法を生かして	A	①構図や色彩が感情にもたらす効果を多種な視点から理解していたり、幅広い視野に立って造形的な特徴などを基に、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などをより深く全体のイメージなどで捉えていること を理解している。	②表現の意図に応じて、形などが感情にもたらす効果を意識しながら試行錯誤を重ね、より洗練された空間（立体感と奥行き）になるように創意工夫をし、明確に完成までの見通しをもってよりよく創造的に表している。	A	①より具体的に伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、主題をより表現するために、形などが感情にもたちす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多種な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っている。	①伝達のデザインの造形的な特徴などから伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさなどを深く感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて幅広く考え、生活の中のデザインの役割など、多様な視点に立って見方や感じ方を深めている。	A	①自ら進んで表現の活動に楽しく関わり、実によい表現を目指して、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えようとしたり、作品のよさや美しさなどを新しい視点を探しながら感じ取ろうとしたり、見方や感じ方を深めようとしている。	①自ら進んで楽しみながら、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えようとしたり、作品のよさや美しさなどを新しい視点を探しながら感じ取ろうとしたり、見方や感じ方を深めようとしている。	7 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
				概要	題材の目標 空間や夢（心の中の世界などから主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を選択して創造的に絵で表現する。 主な学習内容 ○夢、想像や感情などの空想やの心に広がる世界などを考えたり広げたりしながら主題を生み出す。 ○主題を基に新たなことを想像したり、さらに組み合わせたりしながら構想を練る。 ○絵の具などの特性を生かし、表現に応じて創意工夫して表す。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、根拠を明らかにして意見を述べたり比較したりする。	B	空間（立体感と奥行き）などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を選択して創造的に表している。	空間（立体感と奥行き）などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を選択して創造的に表している。	B	例 私たちの町を案内するために、伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、主題をより表現するために、形などが感情にもたちす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを多種な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っている。	美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	B	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品のよさや感じ取り作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	7) 形や色彩、材料、光などから感じる優しさや美しさ等、よさを捉える。 (オ) 余白や空間の効果、立体感や遠近感、量感や動勢などを捉える。
						C	■制作などの作業やそれらが感情にもたらす効果をより実感的に理解できるよう、身近な体験などと関連付け考えさせる。	■空間（立体感と奥行き）などの効果を再度確認させることや、用具の特性や扱い方について実演を行いながら説明したり、主題を確認させて生徒自身の表したいことを整理させるなど制作の手順を繰り返し確認させたりしながら、見通しがもてるようにする。	C	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について深く考え直して、表現する構想を練っている。	■生徒自身の表現の活動における主題と表現の意図と工夫について振り返らせて、表現や工夫などと関連させながら見方や感じ方を深められるようにする。	C	他や色彩などが感情にもたらす効果などを実感的に理解できるよう、身近な体験などと関連付け考えさせる。	■自分の作品の意図と関連させ、他者の作品の特徴やイメージなどについて気付かせるようにする。	

共通事項		
	7 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。	(7) 色彩の色相や明るさ、鮮やかさを捉える。 (イ) 材料の性質や質感を捉える。 (ウ) 形や色彩、材料、光などから感じる優しさや美しさ等、よさを捉える。 (エ) 余白や空間の効果、立体感や遠近感、量感や動勢などを捉える。 (オ) 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉える。
	4 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉えること。	(7) 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉える。

① **題材の概要** および **評価規準(B)**の記述の参考になります。

日本文教出版 「題材内容資料」

https://www.nichibun-g.co.jp/textbooks/c-bi/download/r3/r3_c-bi_nenkei2_2009.pdf

② **A判定基準** および **Cの手立て** の記述の参考になります。

国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_bijyut.pdf